

平成22年3月期 中間決算参考資料

(平成21年4月1日 ~ 平成21年9月30日)



東北特殊鋼株式会社

<http://www.tohokusteel.com>

(JASDAQ : 銘柄コード 5484)



目次

会社の概況

会社概要	4
経営理念	5
沿革	6
当社の事業内容	7
当社グループの事業内容	8
株価の年別推移	9

平成22年3月期 第2四半期決算情報

平成21年4～9月の総括	11
連結損益計算書	12
損益計算書(単体)	13
売上高の推移(事業区分別)	14
経常利益の推移	15
当期純利益の推移	16
株価収益率の推移	17
配当金の推移	18

連結貸借対照表(資産の部)	19
連結貸借対照表(負債・純資産の部)	20
貸借対照表(単体)(資産の部)	21
貸借対照表(単体)(負債・純資産の部)	22
総資産、純資産額の推移	23

平成22年3月期 業績予想

平成22年3月期の見通し	25
連結業績予想	26
業績予想(単体)	27

その他参考情報

F A Q (よくあるご質問)	29～33
本資料に関するご注意	34



会社の概況



会社概要

(平成21年9月30日現在)

- 商号
東北特殊鋼株式会社
Tohoku Steel Co., Ltd.
- 設立年月日
昭和12年4月20日
- 代表者
代表取締役社長 中田 博也
- 資本金
8億2,750万円
- 発行済株式総数
7,550千株
- 決算期
3月
- 従業員数
単体：325名、連結：404名
(嘱託、臨時従業員を含む)

- 本社
宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘23
- 工場
本社(村田)、土浦
- 営業所
東京、名古屋、大阪、仙台
- グループ会社
東特エステートサービス株式会社、
東特興業株式会社



経営理念

我が社は、創立の精神「東北大学の指導により高級特殊鋼を製造し、産業界に貢献する」を基に、需要家の要求する素材の研究開発、並びに製造と、総合エンジニアリングによる特色ある商品の提供によって、企業の永続的発展をはかる。

このため我々は、創造性を求めて挑戦する積極性と変化に迅速に対応する柔軟性を持たなければならない。



沿革

- 1937年 4月 仙台市に資本金500千円をもって設立
- 1938年 4月 仙台特殊鋼(株)を合併
- 1940年 耐熱鋼の生産開始
- 1960年 世界初の耐食性軟磁性材料K-M鋼の開発
- 1961年10月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1971年 4月 キリンサービス(株)を設立 (現・連結子会社：東特興業(株))
- 1975年11月 加工製品の製造販売開始
- 1978年 7月 東京証券取引所市場第二部上場廃止、
社団法人日本証券業協会より店頭管理銘柄に指定
- 1980年10月 熱処理加工の受託販売開始
- 1986年 2月 土浦熱処理工場を設置
- 1987年 7月 (株)児玉工業所を譲受 (現・連結子会社：東特エステートサービス(株))
- 1992年 4月 村田工場を本社工場に変更
- 1997年 6月 東特エステートサービス(株)、不動産賃貸事業開始
- 1997年 9月 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 2004年12月 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
- 2005年 7月 発明協会より「21世紀発明奨励賞」受賞・・・次世代鉛レス快削鋼「TICS」
- 2006年 2月 土浦工場を、東筑波新治工業団地へ移転
- 2006年 8月 ISO/TS16949を認証取得 (国内特殊鋼専業メーカー初)
- 2007年11月 発明協会より「東北経済産業局長賞」受賞・・・高硬度電磁ステンレス鋼「K-M57」



当社の事業内容

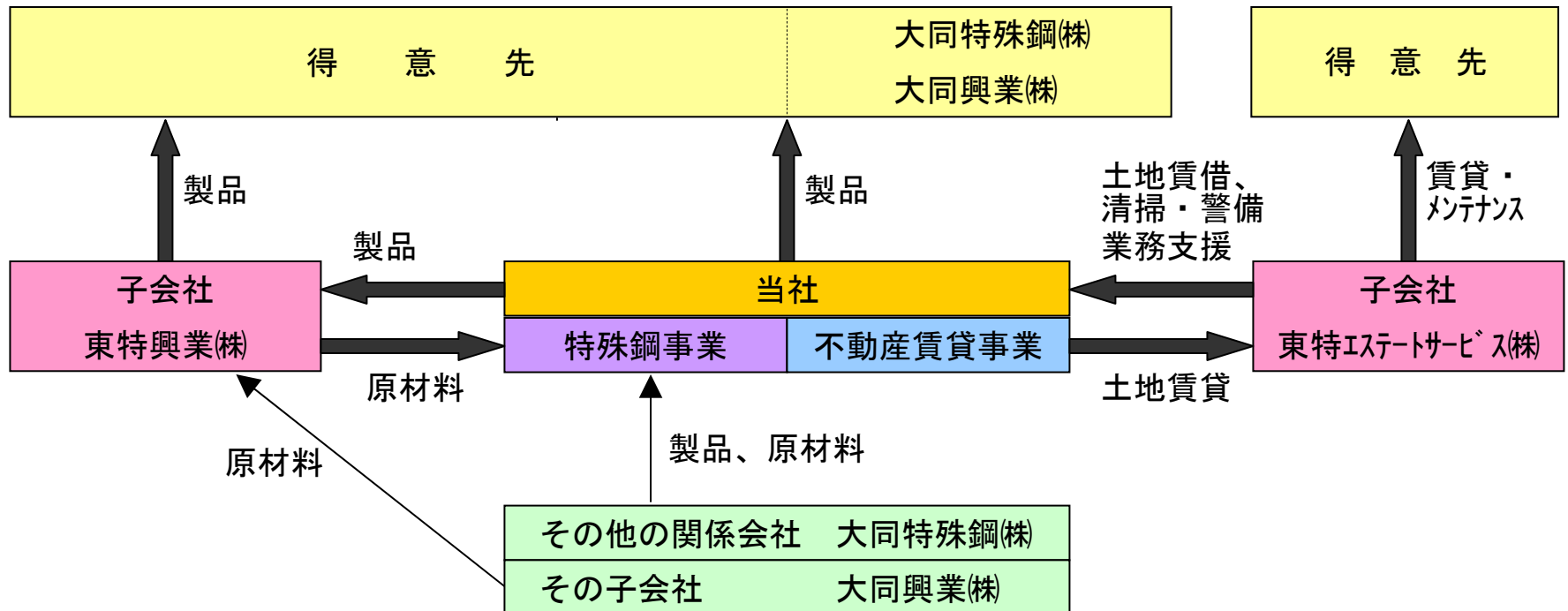
部 門	主 な 営 業 品 目	
特殊鋼鋼材	特殊鋼鋼材	ステンレス鋼、耐熱鋼
	磁性材料	電磁ステンレス鋼、快削電磁ステンレス鋼、電磁純鉄、快削電磁純鉄、珪素鉄、高飽和値磁性材料、半硬質材料
	合金	耐熱耐食合金、電磁機器用合金、特殊用途合金
加工製品	電磁ステンレス鋼	電動パワステセンサー、アンチロックブレーキセンサー、電磁可動鉄心
	特殊ステンレス鋼	自動車燃料噴射ポンプ部品、自動車各種センサー部品、各種シャフト、水圧・油圧・空圧電磁弁部品
	工具鋼	自動車燃料噴射ポンプ部品
	合金鋼	事務機センサー、バッテリーターミナル
熱処理加工	熱処理	真空焼入・焼戻処理、真空磁気焼鈍、水素焼鈍、光輝熱処理
	表面改質	ガス軟窒化、イオン窒化、特殊窒化 TD処理、PVD処理、キリンコート
その他	土地賃貸	



当社グループの事業内容

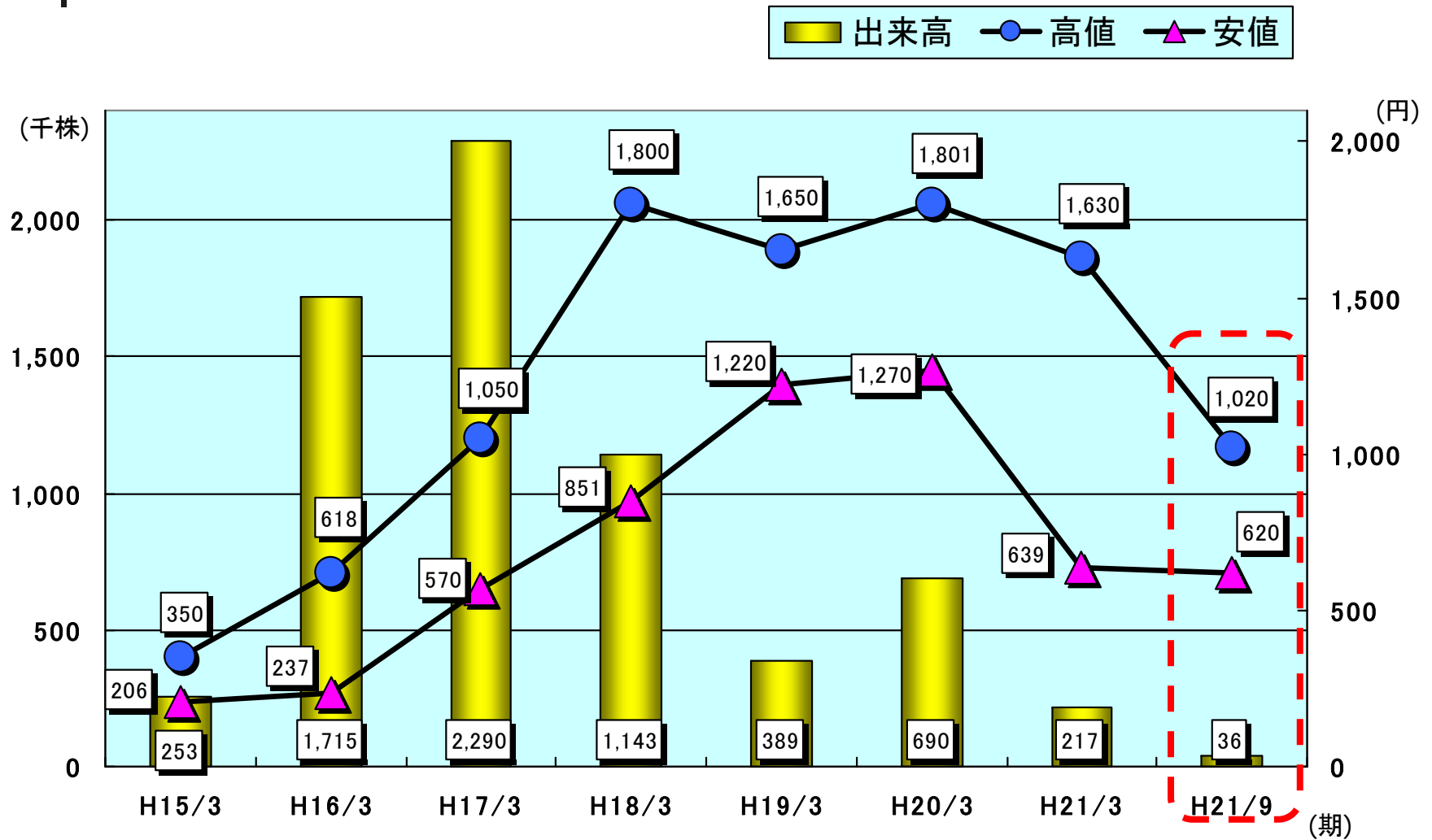
〔当社グループの事業別セグメント〕

- ① 特殊鋼事業 …… 特殊鋼鋼材、加工製品、熱処理加工
- ② 不動産賃貸事業 …… 土地・建物等賃貸、ビルメンテナンス業





株価の年別推移





平成22年3月期 第2四半期決算情報



平成21年4～9月の総括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来からの金融不安による世界同時不況の影響が实体经济にも及び、企業収益や雇用情勢が大幅に悪化するなど非常に厳しい状況で推移いたしました。

特殊鋼業界におきましては、主要需要先である自動車業界の低迷により、依然受注水準は低く引き続き厳しい状況にあります。

このような環境の中で、当社グループの特殊鋼事業につきましては、大幅な受注の減少を補うべく、徹底したコスト削減と在庫調整の推進、ならびに生産性の向上など財務体質の強化に努めました。一方で、不動産賃貸事業につきましては、引き続きサービスの向上に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ43億8千4百万円減の67億6千3百万円となりました。収益面では、利益確保に向けた合理化に一定の成果をあげましたが、大幅な売上の減少により、経常利益は前年同四半期に比べ7億1百万円減の5億8千4百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ7億2千8百万円減の3億5千1百万円となりました。



連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	当四半期累計期間 〔平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで〕		前四半期累計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで〕		前期 〔平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	6,763	100.0	11,148	100.0	19,328	100.0
売上原価	5,668	83.8	9,230	82.8	16,246	84.1
売上総利益	1,094	16.2	1,917	17.2	3,082	15.9
販売費及び一般管理費	524	7.8	675	6.1	1,264	6.5
営業利益	569	8.4	1,241	11.1	1,817	9.4
営業外収益	57	0.8	70	0.6	141	0.7
営業外費用	41	0.6	25	0.2	50	0.2
経常利益	584	8.6	1,286	11.5	1,908	9.9
特別利益	-	-	554	5.0	554	2.9
特別損失	-	-	33	0.3	33	0.2
税金等調整前 四半期(当期)純利益	584	8.6	1,806	16.2	2,429	12.6
法人税等	233	3.4	727	6.5	980	5.1
四半期(当期)純利益	351	5.2	1,079	9.7	1,448	7.5

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



損益計算書(単体)

(単位:百万円、%)

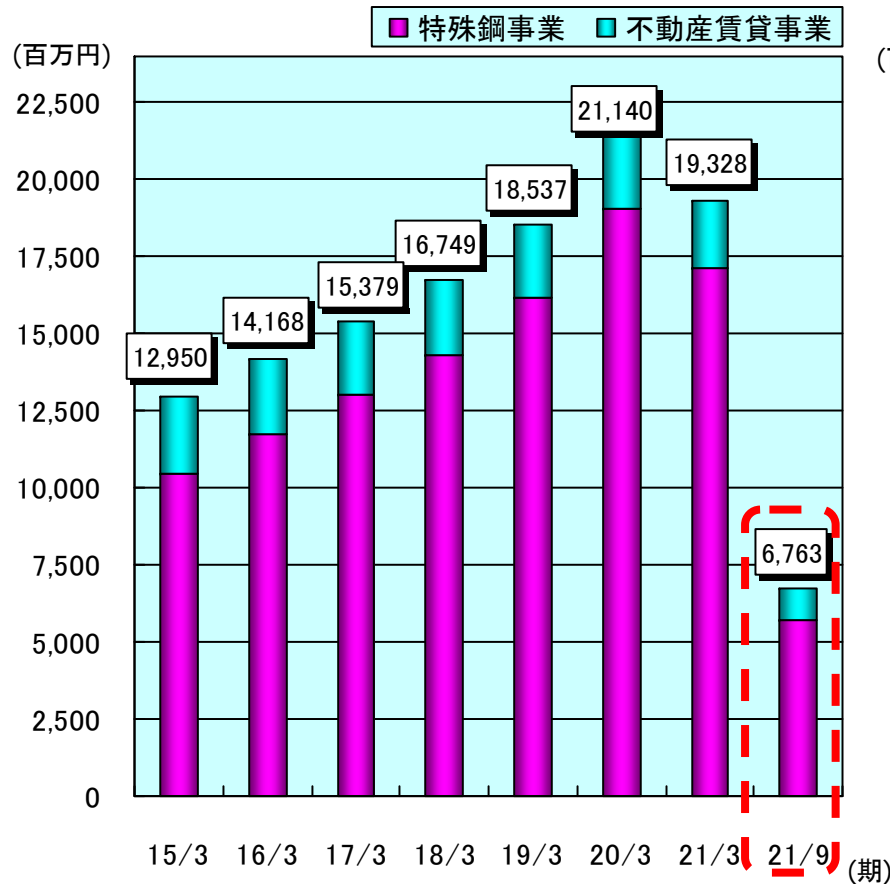
	当四半期累計期間 〔平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで〕		前四半期累計期間 〔平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで〕		前期 〔平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	5,760	100.0	9,898	100.0	16,996	100.0
売上原価	5,063	87.9	8,444	85.3	14,776	86.9
売上総利益	696	12.1	1,453	14.7	2,219	13.1
販売費及び一般管理費	478	8.3	614	6.2	1,152	6.8
営業利益	218	3.8	838	8.5	1,067	6.3
営業外収益	73	1.3	86	0.8	160	0.9
営業外費用	15	0.3	14	0.1	30	0.2
経常利益	276	4.8	910	9.2	1,197	7.0
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	33	0.3	33	0.2
税引前 四半期(当期)純利益	276	4.8	876	8.9	1,164	6.8
法人税等	108	1.9	349	3.4	471	2.7
四半期(当期)純利益	168	2.9	527	5.3	692	4.1

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

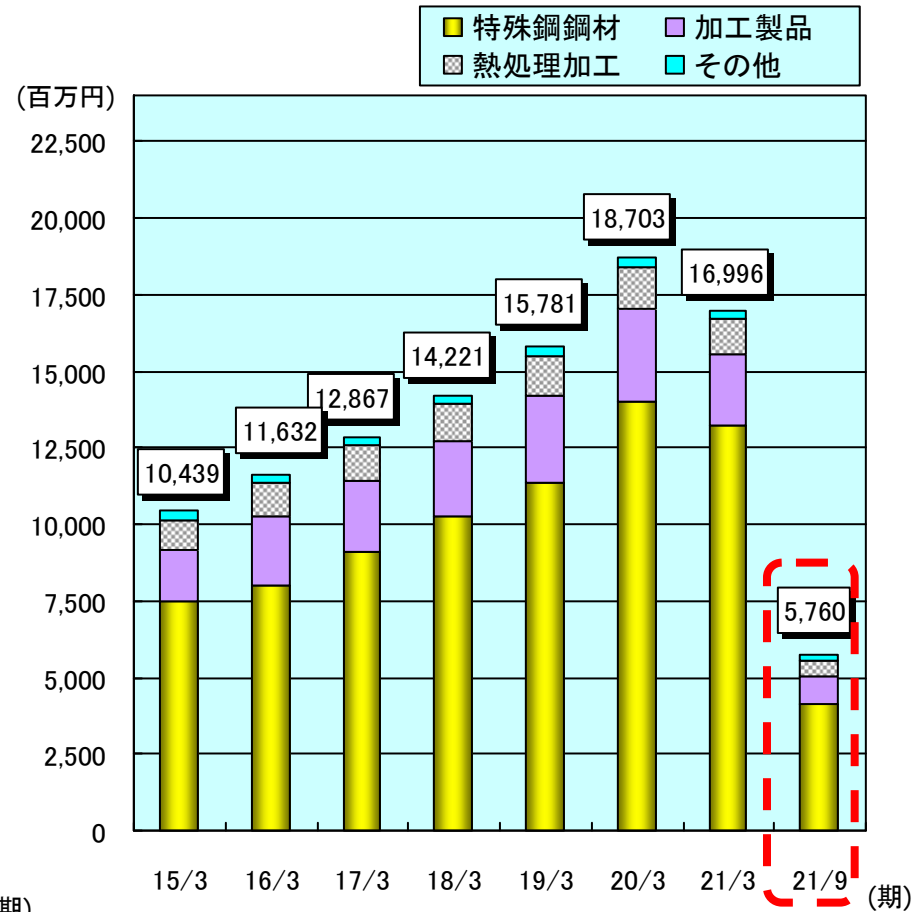


売上高の推移(事業区分別)

連結

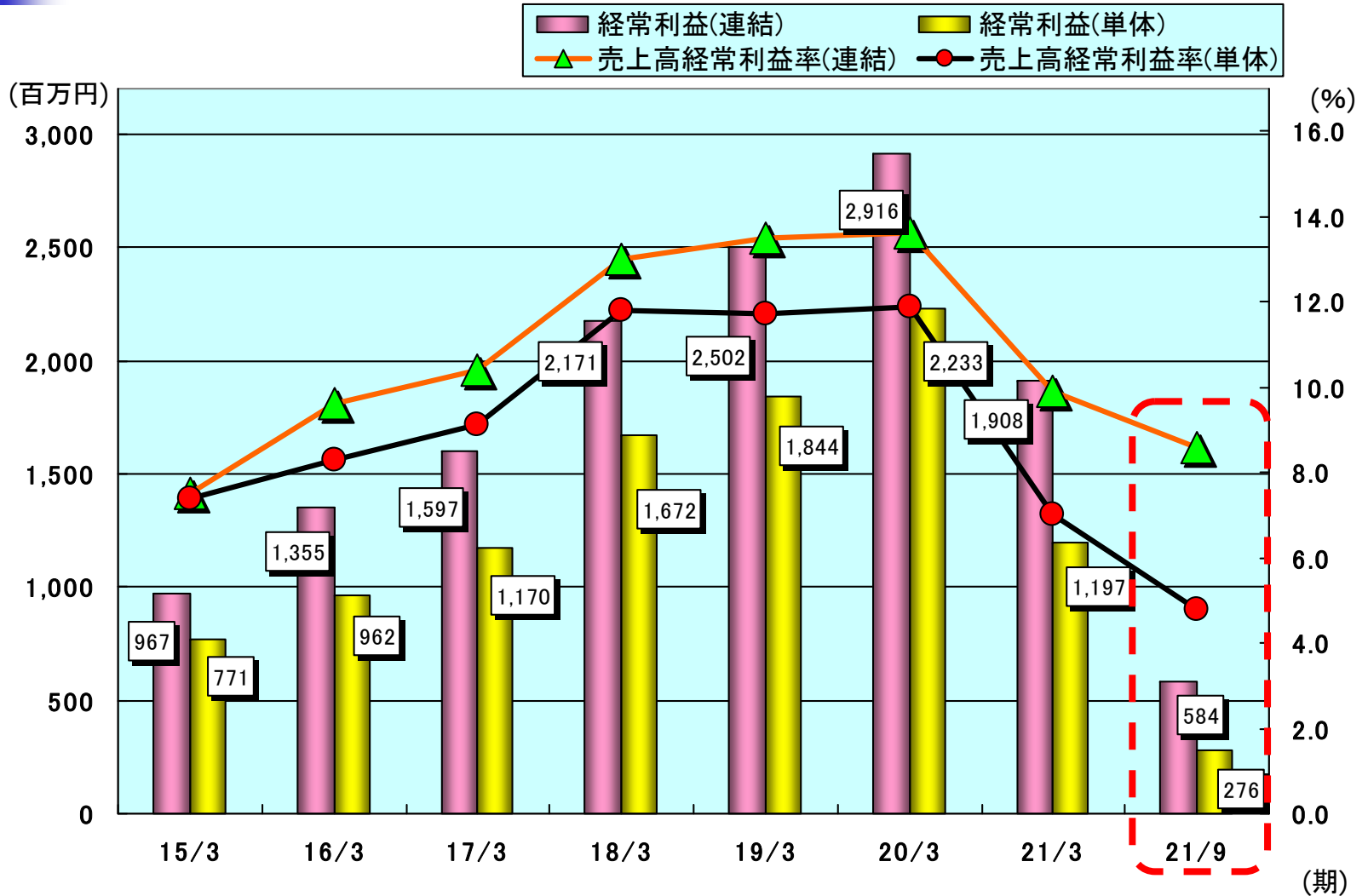


単体



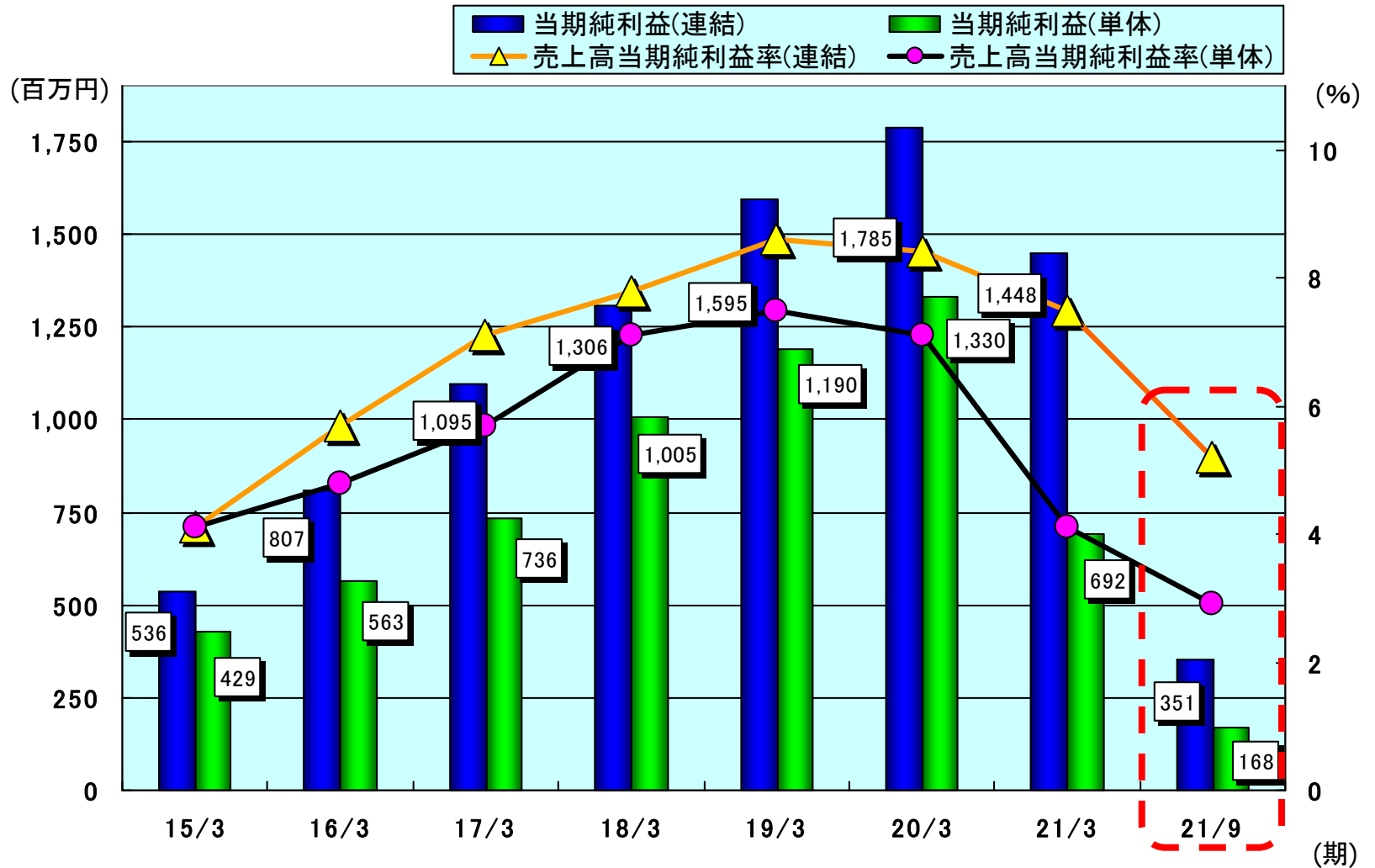


経常利益の推移



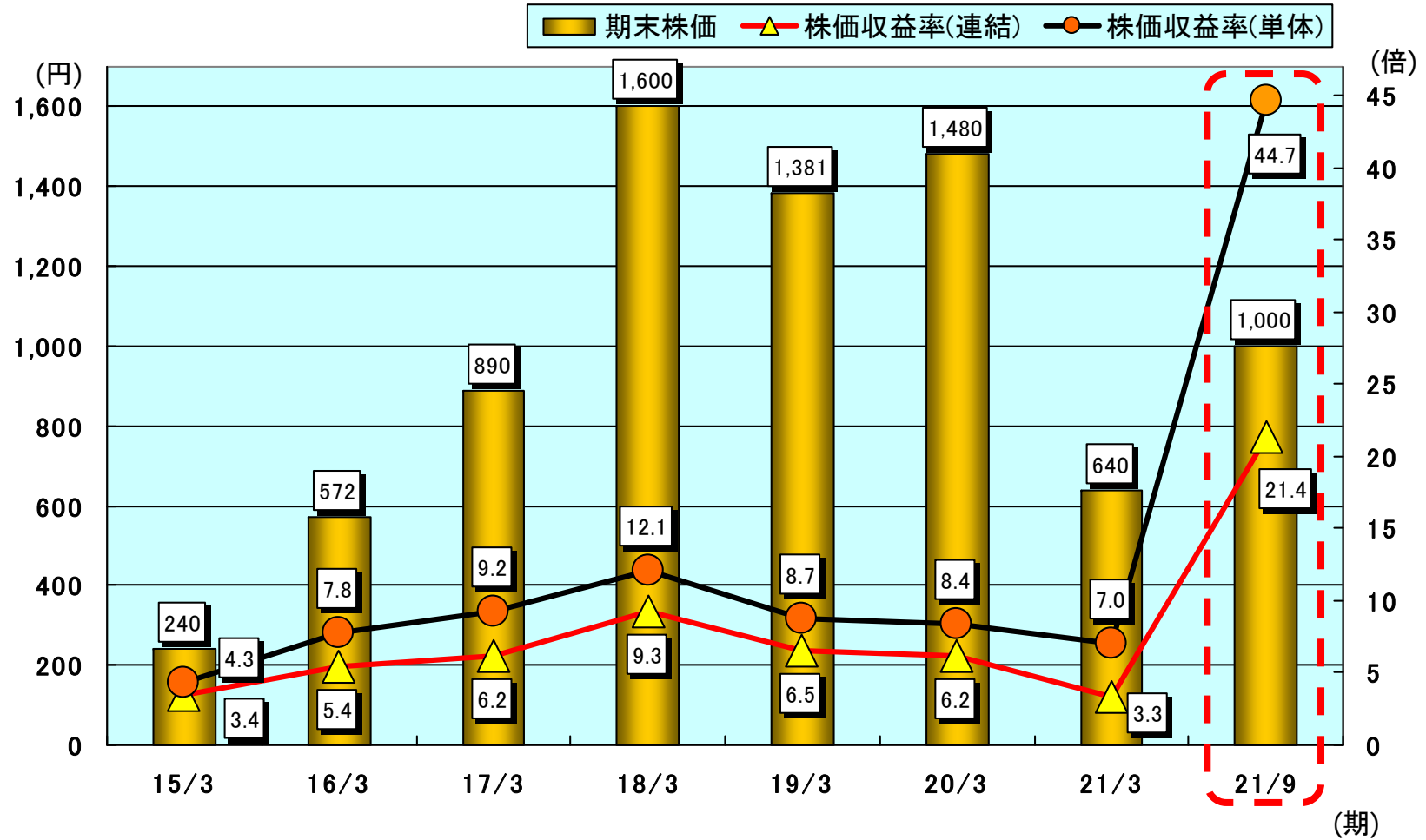


当期純利益の推移



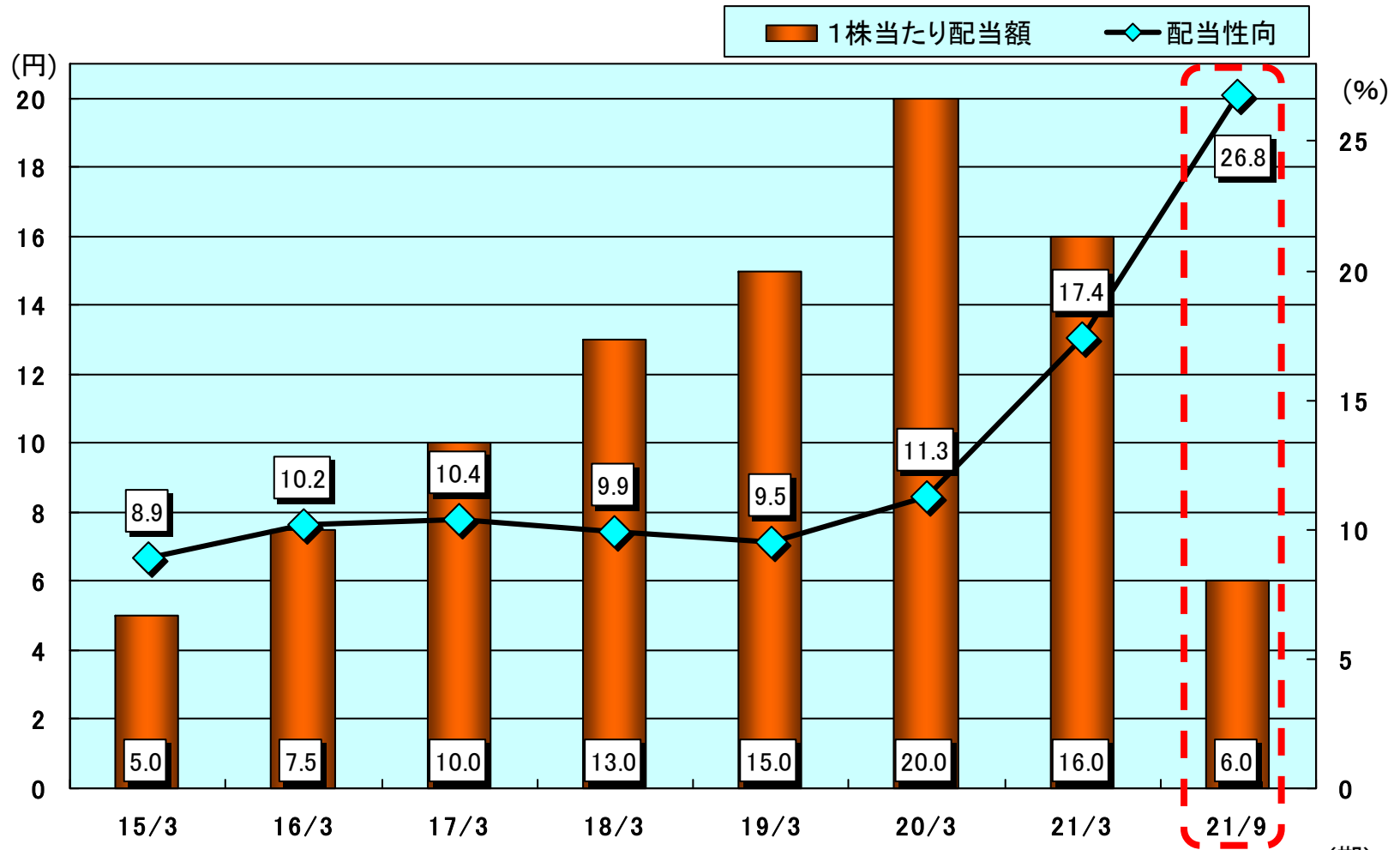


株価収益率の推移





配当金の推移



※20/3期の配当金は、創業70周年記念配当2円を含む。

(期)



連結貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円、%)

	当四半期末 (平成21年9月30日現在)		前四半期末 (平成20年9月30日現在)		前期末 (平成21年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	8,391	42.8	9,534	44.0	8,082	41.1
当座資産	6,268	31.9	6,601	30.5	5,224	26.6
たな卸資産	1,814	9.3	2,597	12.0	2,507	12.7
その他	307	1.6	336	1.5	350	1.8
固定資産	11,240	57.2	12,138	56.0	11,573	58.9
有形固定資産	9,879	50.3	10,203	47.1	10,032	51.0
無形固定資産	98	0.5	126	0.6	112	0.6
投資その他の資産	1,262	6.4	1,809	8.3	1,428	7.3
資産合計	19,631	100.0	21,673	100.0	19,655	100.0

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結貸借対照表(負債・純資産の部)

(単位:百万円、%)

	当四半期末 (平成21年9月30日現在)		前四半期末 (平成20年9月30日現在)		前期末 (平成21年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	2,305	11.7	4,529	20.9	2,456	12.5
固定負債	4,889	24.9	5,248	24.2	5,106	26.0
負債合計	7,194	36.6	9,778	45.1	7,562	38.5
株主資本	12,269	62.5	11,670	53.9	11,971	60.9
評価・換算差額等	168	0.9	224	1.0	121	0.6
純資産合計	12,437	63.4	11,895	54.9	12,092	61.5
負債・純資産合計	19,631	100.0	21,673	100.0	19,655	100.0

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



貸借対照表(単体)(資産の部)

(単位:百万円、%)

	当四半期末 (平成21年9月30日現在)		前四半期末 (平成20年9月30日現在)		前期末 (平成21年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	7,276	60.9	8,462	63.1	6,878	58.7
当座資産	5,030	42.1	5,560	41.5	3,952	33.7
たな卸資産	1,786	14.9	2,528	18.8	2,453	20.9
その他	460	3.9	374	2.8	472	4.1
固定資産	4,675	39.1	4,950	36.9	4,843	41.3
有形固定資産	2,106	17.6	2,059	15.4	2,106	18.0
無形固定資産	65	0.5	85	0.6	75	0.6
投資その他の資産	2,503	21.0	2,806	20.9	2,661	22.7
資産合計	11,952	100.0	13,413	100.0	11,722	100.0

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



貸借対照表(単体)(負債・純資産の部)

(単位:百万円、%)

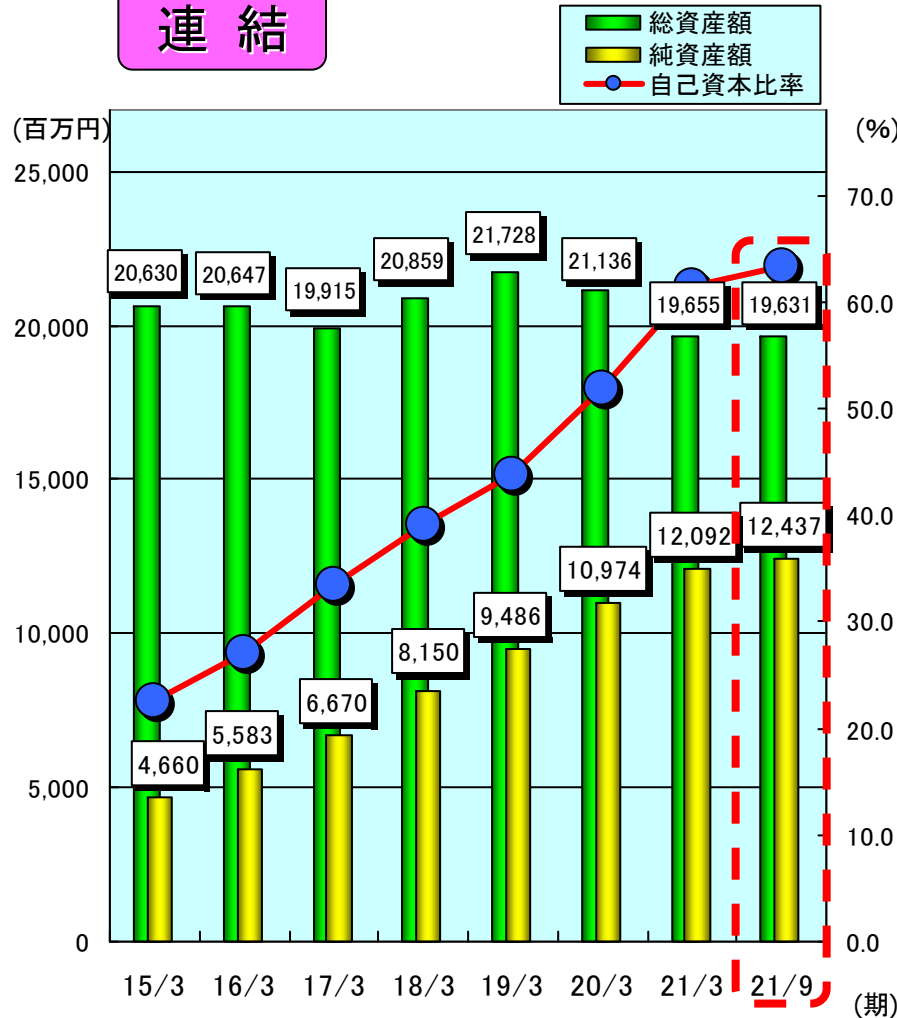
	当四半期末 (平成21年9月30日現在)		前四半期末 (平成20年9月30日現在)		前期末 (平成21年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	1,601	13.4	3,181	23.7	1,561	13.3
固定負債	126	1.1	162	1.2	98	0.9
負債合計	1,727	14.5	3,343	24.9	1,659	14.2
株主資本	10,056	84.1	9,844	73.4	9,941	84.8
評価・換算差額等	168	1.4	224	1.7	121	1.0
純資産合計	10,224	85.5	10,069	75.1	10,062	85.8
負債・純資産合計	11,952	100.0	13,413	100.0	11,722	100.0

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

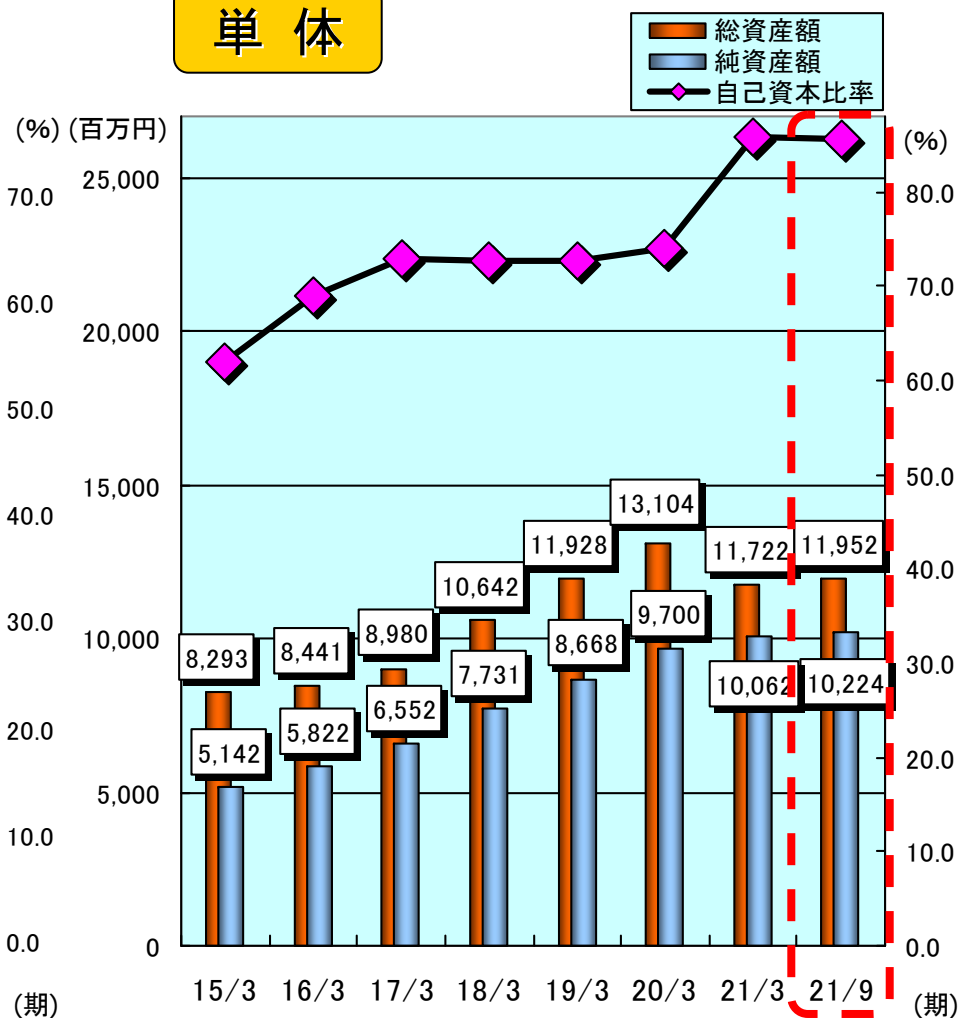


総資産、純資産額の推移

連結



単体





平成22年3月期 業績予想



平成22年3月期の見通し

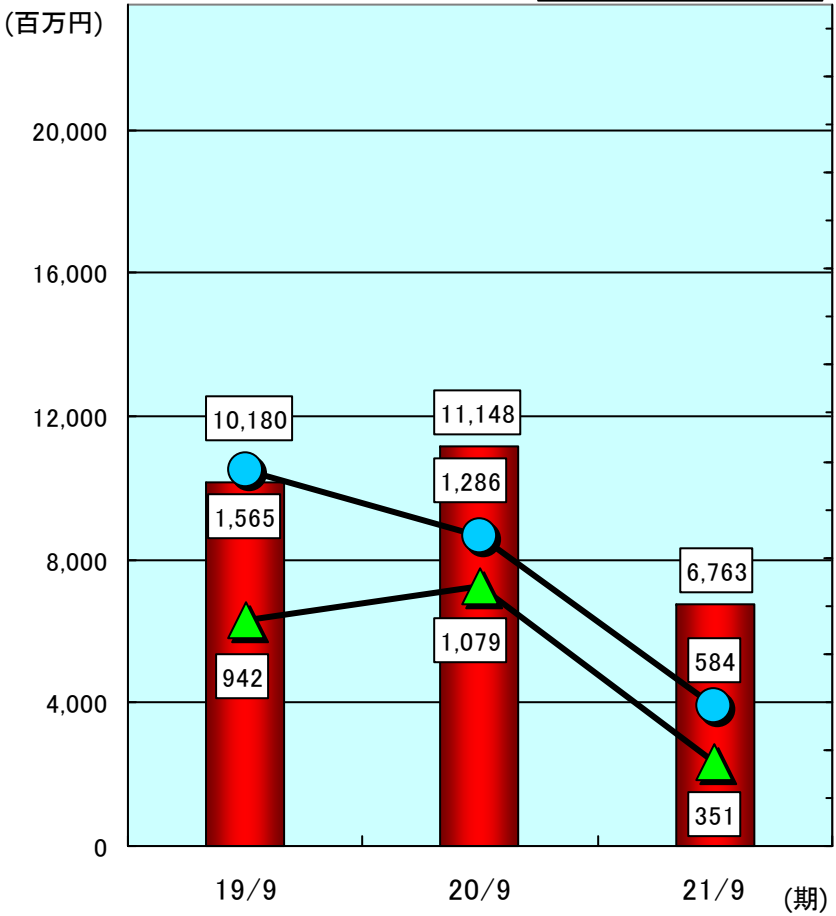
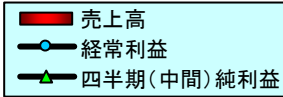
平成22年3月期の見通しにつきましては、在庫調整の進展や各国の景気対策が下支えとなり、景気の底打ち感がさらに強まり、回復へと向かうものと見られますが、個人消費や設備投資はいまだ低水準であり、回復は限定的となることが予想されます。特殊鋼業界におきましても、自動車業界の減産に底打ち感が見られるものの、建機・産業機械向け需要の低迷が続く見通しであり、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境見通しの中、売上高は前連結会計年度比54億2千8百万円減の139億円、経常利益は前連結会計年度比8億5千8百万円減の10億5千万円、当期純利益は前連結会計年度比8億4千8百万円減の6億円を見込んでおります。（平成21年11月6日現在）

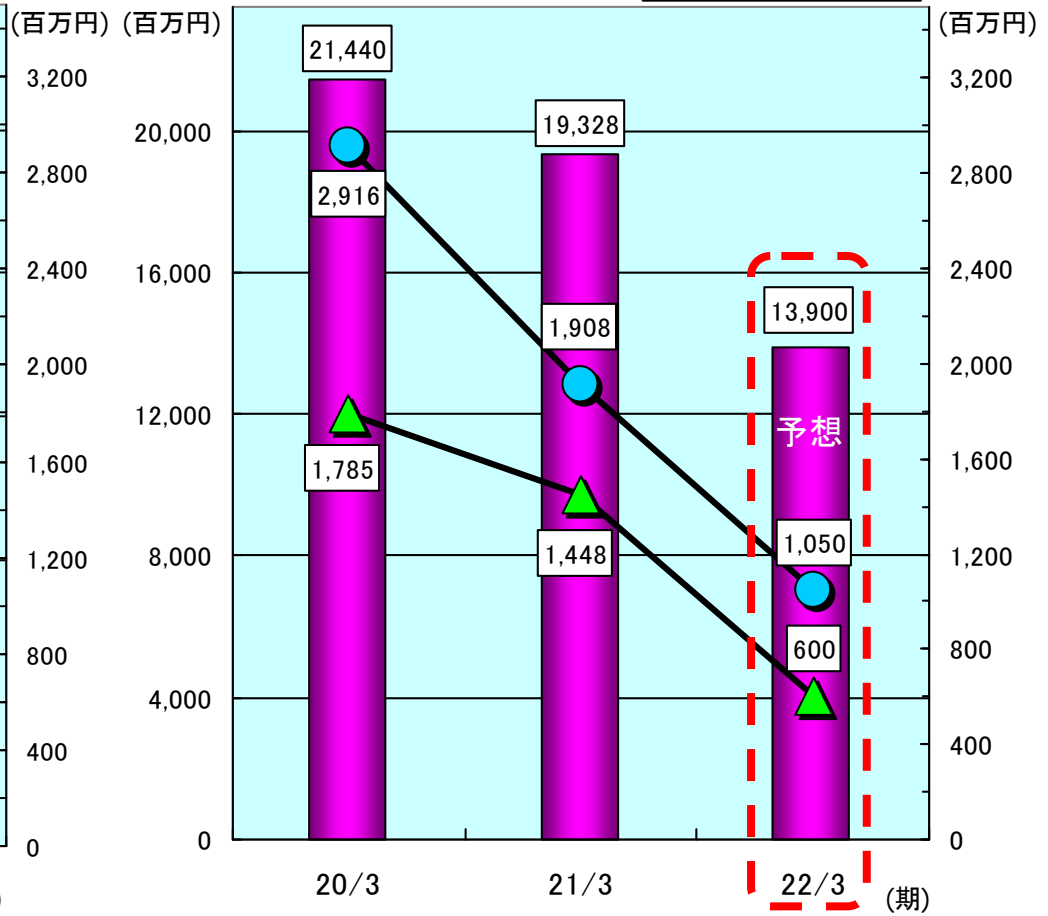
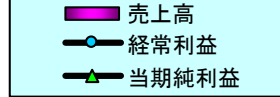


連結業績予想

第2四半期



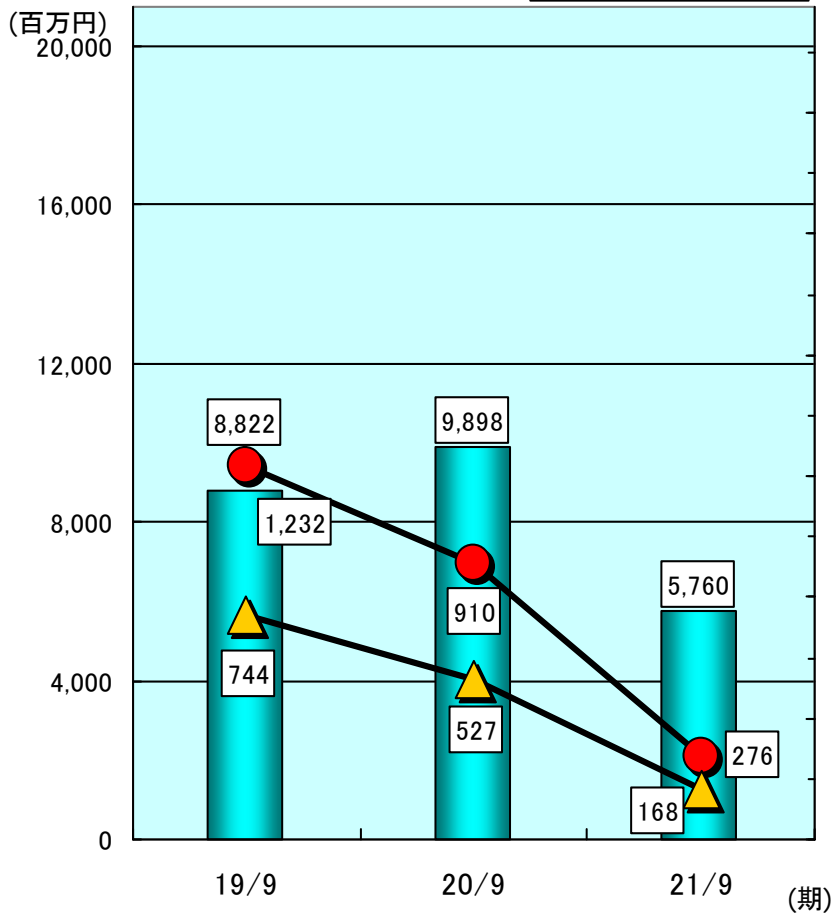
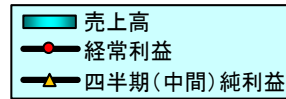
通期



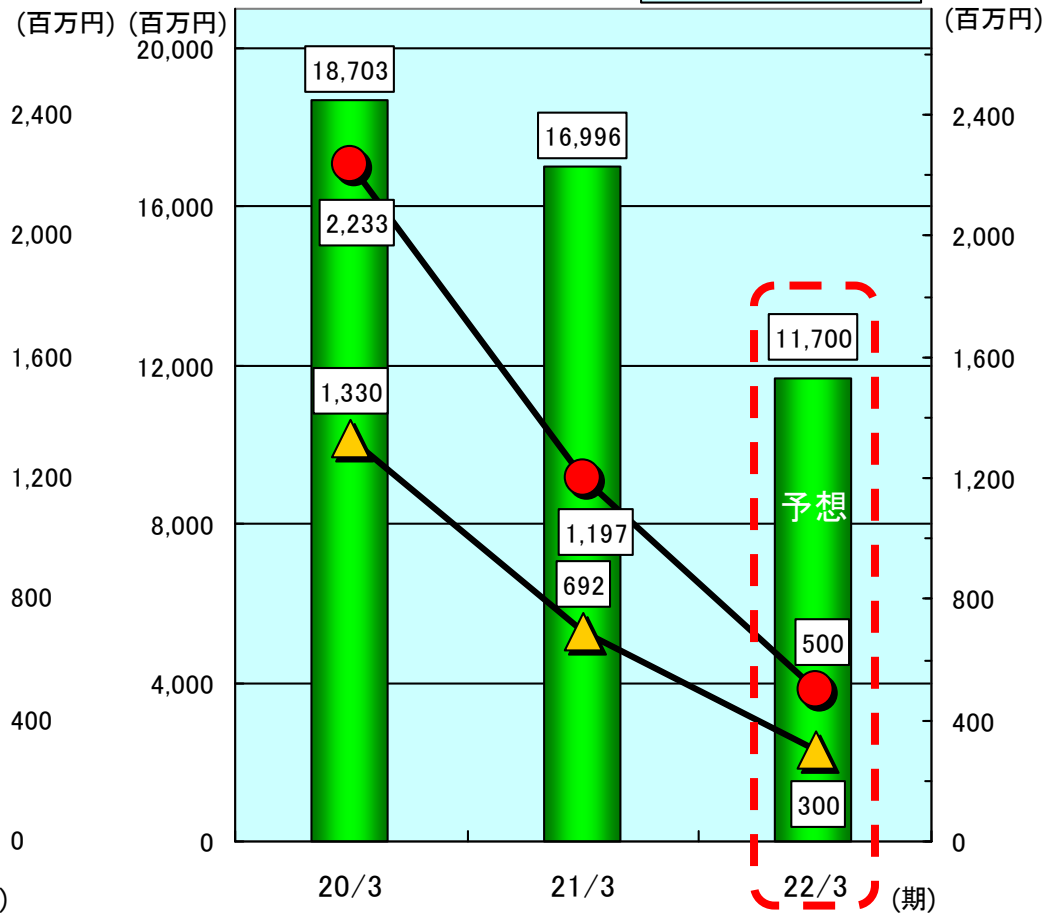
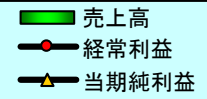


業績予想(単体)

第2四半期



通期





その他参考情報



FAQ(1)～株式・配当等に関するご質問～

≫ Q 上場市場と証券コードは？

≫ A 上場市場は「JASDAQ証券取引所」、証券コードは「5484」でございます。

≫ Q 配当金支払いの株主確定日はいつですか？

≫ A 期末配当金は3月31日、中間配当金は9月30日でございます。

≫ Q 今回、中間配当を実施したが、配当政策について詳しく説明してほしい。

≫ A 配当金につきましては、財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、業績に裏打ちされた成果の株主還元を基本方針としておりますが、一事業年度において一定の配当性向を保つという考え方ではなく、安定した利益還元を継続していくことも重視しております。従いまして、今後も先行き不透明な経営環境が続くとの懸念がございましたが、株主利益も尊重しながら継続的視点での配当政策を維持していく所存でございます。



FAQ(2)～業績等に関するご質問～

≫ Q 次回の決算発表はいつですか？

≫ A 平成22年3月期第3四半期の決算発表を平成22年2月上旬に予定しております。
また、平成22年3月期期末の決算発表を、平成22年5月中旬に予定しております。

≫ Q 平成22年3月期第2四半期決算における連結子会社の各々の損益を教えてください。

≫ A

(単位：百万円)

連結子会社名	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
東特エステートサービス(株)	1,083	325	296	175
東特興業(株)	442	5	8	5



FAQ(3)～事業内容等に関するご質問～

≫ Q 平成17年7月に、21世紀発明奨励賞を受賞した「次世代鉛レス快削鋼」とはどのような発明か教えてほしい。

≫ A 精密加工部品に用いられる多くの材料には、切削加工に必要なエネルギー、時間、工具等の節約と加工面精度の向上のために鉛が添加され、鉛快削鋼と呼ばれています。ただし、スクラップ等から自然環境に流出して、人体に悪影響を及ぼす可能性などから、その利用があらゆる産業分野で規制されつつあります。そのため、鉛に替わる切削性改善物質が求められてきました。

本発明では、鉛の代わりにチタン炭硫化物 ($Ti_4C_2S_2$) を材料中に分散生成させることにより、各種ステンレス鋼をはじめ、難切削材と言われてきたインバー、コバルトなどの広範囲な合金材料の切削性を改善できることを発見しました。しかも、耐食性、強度などの機械特性、磁気特性や熱膨張率などの機能特性を損ないません。量産製造条件も確立され、21世紀の環境保護に貢献する材料として大いに期待されています。



FAQ(4)～事業内容等に関するご質問～

≫Q 2006年8月に認証取得した「ISO/TS16949」とは、どのようなものですか？

≫A 「ISO/TS16949」は、米国のBIG3、欧州メーカー5社と5ヶ国の自動車産業団体で構成される、国際自動車タスクフォースIATFによって作成された自動車業界向けのISO規格でございます。

当社では、電磁ステンレス鋼の製造において、この規格を国内特殊鋼専門メーカーとして初めて取得いたしました。

今後は、この取得を足がかりに、欧州系部品メーカーへのさらなる拡販を図っていきます。

≫Q 単体の事業区分別売上高の「その他」とは具体的に何ですか。

≫A 連結子会社であります東特エステートサービス株式会社に、合同会社西友のショッピングセンター用地として賃貸している旧長町工場の土地賃貸収入でございます。



FAQ(5)～事業内容等に関するご質問～

≫ Q 「不動産賃貸事業」を行っているようですが、具体的な事業内容を教えてください。

≫ A 不動産賃貸事業とは、当社グループが旧長町工場用地を再開発し、1997年9月に建設したショッピングセンター「ザ・モール仙台長町」を合同会社西友に賃貸するとともに、館内の清掃や警備、施設管理等のビルメンテナンス業務等を請負っている事業であります。

2000年12月には「ザ・モール仙台長町PARTⅡ」を増築オープンし、映画館も兼ね備えた東北最大級のショッピングセンターとなりました。仙台駅から10分の地下鉄長町南駅と地下通路で直結しており、また幹線道路に接していることもあり、多様な交通手段でアクセスしていただける場所にあります。

2009年10月には店舗の大幅なリニューアル、隣接する「ララガーデン長町」のオープンなどにより、集客力のアップや相乗効果による売上げ増が期待できます。



本資料に関するご注意

本資料は、当社をよりご理解いただく為の情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、情報掲載には細心の注意を払っておりますが、その内容についていかなる保証を行うものではございません。

さらに、本資料に記載されている業績予想数値は、本資料作成時点における当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢など、業績に影響を与える要因について入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。